

第3回成育医療等分科会への意見

山本 秀樹（公益社団法人 日本歯科医師会常務理事）

歯科として、1.6歳児と3歳児の健診を除いて就学時まで健診がないので、こども家庭庁等に導入を要望していますが実現に至ってはおりません。

6歳臼歯、いわゆる第1大臼歯は、以前は6歳頃に生えていたが、現在では5歳頃と早い時期から生えるようになり、口の中の状態も昔とは大分違ってきています。また、口腔機能の発達不全や、4歳を過ぎても指しゃぶりといった習癖がなかなか治らない乳幼児が増えてきている中で、そういったところをチェックするという意味でも、5歳児健診に歯科を導入することを強く望みます。